

「今金町防災を考えるつどい～災害に備えて～」

大雨がもたらす災害が近年増える傾向にあり、災害に強い町づくりや防災意識の向上が求められていることから、今金町では地域と共に防災に対して考え、一人ひとりが自助・共助の意識を日頃から高めるためのキッカケづくりとして、「今金町防災を考えるつどい」を毎年、避難場所を変えて開催しています。

- 開催日時 平成29年11月19日（日）避難訓練：9:30～10:50 講演：11:05～12:20
炊き出し：12:20～13:00 災害対策車両の展示
- 実施場所 今金町総合福祉施設「としべつ」 保険センター
- 参加機関 主催：今金町 後援：自治会町内会連合会 協力：関係機関等 12機関 約30名
- 参加者数 5地区町内会の町民：約180名

●「としべつ」を避難場所に指定する地区の『避難訓練』を実施

災害が増えている中で、町民は日頃から防災意識を高く持ち、災害発生時には迅速かつ適切な判断と行動を取らなければならないことから、町として本年は、今金町総合福祉施設「としべつ」を避難場所と指定する地区（大和町、栄町、緑町、商工団地、トマンケシ）を対象とした避難訓練を実施しました。



災害対策本部の設置



避難訓練

●講演「近年の洪水と後志利別川流域タイムラインの果たす役割」 今金河川事務所

当日は、天候が悪いにもかかわらず、来場者は約180名となり、今年の台風18号での出水や流域で取り組んでいるタイムラインへの関心度の高さが伺えました。

講演は、今金河川事務所の秋山所長が講師として行われ、「近年の洪水と後志利別川流域タイムラインの果たす役割」と題した講演では、①川の防災情報と最近の水害、②道南初の後志利別川流域タイムラインの取組状況、③全道初の石狩川滝川地区水害タイムラインの運用状況、④全国初の紀宝町でのタイムライン運用効果について、タイムラインの各地での運用状況と共に、その効果を紹介しました。

また会場には、流域タイムライン発足式の実施概要や台風18号における美利河ダムの洪水調節効果等に関するパネル展示も行われました。



講演会



秋山所長



パネル展示

●「災害対策車両」を展示

函館開発建設部では、毎年「防災を考えるつどい」に、照明車、ポンプ車、水陸両用車を展示し、避難訓練参加者や地域住民にPRしています。

見学者は、災害対策車両に乗車したり、車両の前で家族の記念写真を撮影していました。



災害対策車両の展示

●非常時の「炊き出し」

今金町赤十字奉仕団と今金女性会による、暖かいおにぎりと豚汁が150食分準備され、追加分も含めて参加者へのお昼として配布されました。



炊き出しの準備



炊き出しの配布



炊き出しの実食